

「自ら考え、自ら動く」 主体的に人生を切り拓く 人材の育成に向けて

早稲田大学キャリアセンター長
佐々木ひとみ



1 大学時代に得るべき能力

早稲田大学には、授業・課外活動こそ学生生活の最も大切な活動であるという大前提があり、本センターもこの前提に従い、各種事業を展開している。近年、大学生活において「就職すること」が目的化してしまっているような混乱がみられることは、憂慮すべき状況と感じている。

本キャリアセンターでは、これからの変化の激しい時代に向かう学生たちが大学時代に得るべき力とは、「生涯をかけて自己の能力を磨き、社会活動を通して社会に貢献するとともに自己成長を図ることのできる能力」であり、学生時代はその力の「土台づくり」をする時期と考えている。その力を「人間力」と呼び、学生時代に夢中になれるものを見つけ、どっぶり取り組み、粘り強くやり抜くこと、また多様な人々と交流し、多様な価値観を理解することなどを通して人間的力量を大きく広げることが重要であり、その支援を行うことが本センターの大きな役割の一つと理解している。

2 全学で鍛える「人間力」

学生が自立した社会人として世に出るために必要な素養や地力は、大学で

の教育・研究や課外活動など、本来的な学生生活の中で培われる。その意味では、キャリア形成支援はキャリアセンターだけが担うものではなく、大学全体の多様な機会を通じて育まれるものである。本学は伝統的に、学業のみならず課外活動も人が成長する場として捉え、学生が多様な能力を発揮して学生生活を充実させることを支援する風土がある。その中で、キャリアセンターは低学年の学生に対しては「学内のガイド役」となり、学内のあらゆる成長の場を学生に積極的に紹介し、学生個々が自己の志向に適した活動を選択できるような支援を行っている。また他方で、キャリアセンターは学部や学内の各教育組織、学生支援組織と連携し、学生一人ひとりが主体的に学習や学生生活の充実に取り組み、その過程で培った地力・人間力を十分に活用し、自立した独自の活動として就職活動（企業選択）ができるよう環境整備を図っている。

3 学生の個性に合わせたキャリアセンター支援事業

就職活動学年の支援は、行事・情報提供・個別相談の3機能から構成される。情報だけあれば後は自分でやりたという学生には正確で公平な情報を

提供し、いろいろ相談をしながら進めていきたい学生には繰り返し個別相談で対応するなど、本学学生の持つ多様な個性に応じて活用できるような体制を整備している。中でもキャリアセンター職員が強く意識している点は、学生一人ひとりが自らの手で、自分らしく、自分ならではの進路選択を行うための支援をすることである。学生が「自分で選ぶ」まで我慢強く見守り、寄り添うことはたやすいことではない。ときには学生やご家族から「答え」を教えない姿勢にご批判いただくこともある。しかし、今後も「自ら考え、自ら動く」主体的に人生を切り拓く人材を輩出するために、キャリアセンターの役割を果たしていきたい。

